

令和元年度 第2回 成田市立図書館協議会 会議概要

1 開催日時

令和2年1月29日(水) 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

成田市赤坂1-1-3
成田市立図書館 2階集会室

3 出席者

(委員)

野村委員長、半田副委員長、京増委員、日暮委員、軸屋委員、伏木委員、
小川委員

(事務局)

関川教育長、石毛教育部担当次長、田中図書館長、巻嶋館長補佐、濱田主幹、
大隅主幹、加野資料係長、米田奉仕係長、堀越主査

4 議題

- (1) 令和元年度図書館事業中間報告について
- (2) 令和元年度予算執行状況報告について
- (3) 令和2年度図書館事業計画(予定)について
- (4) 令和2年度予算(見込)について
- (5) 成田市立図書館サービス計画の策定について
- (6) その他

5 議事(要旨) 議長：野村委員長

- 議題(1)「令和元年度図書館事業中間報告について」及び議題(2)「令和元年度予算執行状況報告について」事務局から説明を行い、承認を得た。

【委員からの意見・質問等】

<小川委員>

子どもの読書活動推進事業の中のボランティアの支援で研修とあるが、具体的な内容について教えてほしい。

<田中図書館長>

絵本の読み聞かせ講座については、初心者を対象に毎年5月とか6月に行っている。2日間セットで1回目は絵本の選び方などを学び、1週間練習してきていただいて、2回目は実際に本の読み方を実習する。定員30名で募集をかけ、毎回20名程度の参加がある。

赤ちゃん相談絵本読み聞かせについては、図書館でボランティアを養成して、赤ちゃんと保護者に向けた読み聞かせを月1回、保健福祉館で健診の際に実施している。

ストーリーテリング研修は、ボランティアのスキルアップのための研修で昔話を

覚えて語るといった研修である。

<野村委員長>

障がい者サービスについて、録音図書や大型活字の本はどれくらいあって、他市町村と比べると充実しているのか。

<巻嶋館長補佐>

録音図書は770タイトルで県内トップクラスである。一般の小説なら点字図書館でも提供できるが、その他については、利用者からのリクエストに応じて当館の音訳協力者に依頼し作成している。1冊作成するのに下調べから読み・校正まで平均6カ月、最低3カ月以上要するため、年間で30タイトル程度の作成となっている。

<小川委員>

市史編さん事業について、「成田市史研究」第44号の発行を予定しているということだが、部数はどれくらいか。また、配布先は。

<田中図書館長>

部数は700部。配布先は関係機関への配布が多いが、一般にも販売している。

<野村委員長>

忍者の展示があったと思うが、小学校低学年の子どもたちが大変盛り上がっていたと聞いている。広報の成田ゆかりの人物を紹介するコーナーで、長沼事件のことが載っていたところで、500円を寄付したということがそのまま載っていたが、当時の500円がどれくらいの価値があるのか皆さんわからないので、広報等に載せる場合には、今の金額でどれくらいなのか載せてあげた方が良い。

<田中図書館長>

記事を企画している広報課へ伝えます。

- 議題（3）「令和2年度図書館事業計画（予定）について」及び議題（4）「令和2年度予算（見込）について」事務局から説明し、承認を得た。

【委員からの意見・質問等】

<軸屋委員>

ブックリストについては、何冊くらい選ぶのか。

<田中図書館長>

10冊前後で、「1・2年生向け」「3・4年生向け」「5・6年生向け」「中学生向け」を作成し、市内の学校に配布している。また、図書館のホームページ上でも公開している。

<軸屋委員>

他の自治体もやっているのか。

<田中図書館長>

やっているところが多い。

<軸屋委員>

司書が選んでいるのか。

<田中図書館長>

子供向けのリストは児童担当の司書が選び紹介文を載せている。

<京増委員>

学校でおはなし会を利用しているが、学校司書が週4日の勤務の中でおはなし

会のある時は、休みの日に図書館に行き必要な本を借り準備をしている。おはなし会には、ボランティア2名が来てくれることが多いが、図書館司書が来てくれる日があると、図書館に行って本を借りることをしなくて済むため学校司書の負担軽減につながりありがたいが、今後の見通しはどうか。

<田中図書館長>

学校支援という中で実施している。成田市は学校図書館に司書が配置されている。毎日でない学校があることも承知しているが、日常的に子どもたちと接している学校司書がおはなし会をやってくれるのが一番いいと考えている。それが難しいということで図書館から応援に行こうということでやっている事業である。年間150回程度実施しているが、図書館司書が行くのは、新しく採用された学校司書がいる学校となり、その他の学校へは人員的に難しい。図書館と学校の間の本の配送について課題があることは認識しているが、現時点では、学校司書にお願いせざるを得ない。

<小川委員>

視聴覚サービスセンターが廃止になり、視聴覚機材等は令和2年度中に関係機関等への移管を行うということだが、具体的にはどのようなことか。また、これまでは図書館で操作方法を教えてもらえたが、移管された機材を借りに行った場合に移管先の職員が操作方法を教えてくれるのか。

<田中図書館長>

どのように移管するかを検討しているところであるが、使用頻度の多いことが想定される数か所へ移管したいと考えている。操作方法については、新しいものは操作マニュアルがついていると思うが、機材に詳しくない方もいるので、移管先へは操作方法の説明についても検討していきたい。

- 議題(5)「成田市立図書館サービス計画の策定について」事務局から説明し、承認を得た。また、併せてインターネット市政モニター制度を利用した「図書館サービスに関するアンケート」の集計結果を報告した。

【委員からの意見・質問等】

<軸屋委員>

自分で借りた本がわかるようになると良い。

<米田奉仕係長>

図書館のホームページで個人が「My ページ」を設定すれば、自分の借りた本が記録されるようになっている。是非、ご活用いただきたい。

<野村委員長>

図書館では、昨年いろいろなかたちで市民の意見を聞いたりしたが、それに対して図書館側からもアンサーをしなければいけないと思う。広報等ではなく、利用者と図書館職員が直接意見交換できるような環境をつくってあげれば良いと思うがいかがか。

<田中図書館長>

他の図書館では、「図書館友の会」や「図書館サポーター」といった、図書館職員と利用者が話し合いをする懇談会のようなものを実践しているところがある。市民の意見を直接聞きたいので、そのような場がつかれないか検討させてほしい。

○ 議題（6）「その他」はなし。

○ その他として、事務局より次回の会議開催時期をお知らせした。

6 傍聴

傍聴者 3人

7 次回開催日時（予定）

令和2年7月